

田 小学校

所 在 地 〒553-0005 福島区野田 5-13-22

電話番号 6461-0520

標 準 服 有り

校 長 名 川辺 智久

ホームページ https://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e531062



○学校経営の重点「学びの実感に満ちた教育活動の創造」

○PTA の目標「結~育み、励まし、見守って明るく思いやりのある「のだっこ」を育てよう!」

☆「地域・保護者・学校」三者の絆を深めるふれあい活動を大切にしています。

曲 沿革

明治36年 第二西野田尋常小学校として開校

昭和17年 芦分国民学校を本校に併合

昭和22年 大阪市立野田小学校と校名を変更

昭和32年 学校給食優良校として文部大臣賞を受賞する

昭和57年 講堂棟完成(特別教室 屋上プール)

平成24年 北校舎完成

平成25年 創立110周年を迎えた

令和 3 年 第 59 回 社会科全国大会 会場

令和 5 年 創立 120 周年を迎えた

үүү 児童数 (令和7年5月1日現在)

学年	男子	女子	計	学級数	
1	32	27	59	2	
2	27	27	54	2	
3	41	32	73	2	
4	37	34	71	2	
5	41	33	74	3	
6	49	35	84	3	
	4				

🧷 令和 6 年度全国学力・学習状況調査および、全国体力・運動能力、運動習慣等調査

学力・学習状況 |

これまでの成果と今後の課題

国語	算数	
72	67	

(平均正答率%) 小学6年生

○これまで約5年間の授業改善や学級づくりでの教職員の地道な努力により、学習面、生活 面両方に大きな成果が見られている。授業づくり、学級づくりにおいて、各教職員の持つ 子ども観、教育観、および指導技術を野田小学校の財産として、継続していく。

○学習者用端末をはじめとした ICT 機器の活用は改善の余地があり、継続活用をしていく。

体力・運動能力、運動習慣

これまでの成果と今後の課題

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	15.00	15.94	31.29	34.24	38.04	9.69	149.12	21.65	47.64
女子	15.38	15.06	40.09	31.65	31.65	9.91	147.82	11.91	49.88

(平均値) 小学5年生

○昨年度から休み時間の運動場の学年制限を撤廃したことと運動委員会の取り組みによって運動に親しむ場が増え て一定の成果がでている。しかし、体力調査の「反復横とび」に関しては、毎年数値が低く、課題である。日常 の体育の授業で瞬発力が必要な運動を意識して取り入れていく必要がある。

^{令和7年度} 大阪市立野田小学校 学校経営方針

— 学校教育目標 -

創造性・自主性を身につけ、 人間性豊かな子どもを育成する



課題解決に意欲を もっ て取組み、進んで表現 できる子ども

自他を尊重し、互いに励 まし合い高め合う ことが できる子ども

自分の健康に関心をも ち、進んで健康的な生 活を 送ることができる 子ども

めざす学校像

学ぶ楽しさを 味わうことができる学校 一人一人の子どもが 大切にされる学校

子どもがいきいきと 活動できる 学校

【目標達成のための取組】

学びの実感をもつことができる 学 力・体力向上の取組

豊かな人間関係を育み、互いに 認 め合い高め合う集団づくり

未来に向かってたくましく生きる力 を育む教育活動・環境の充実

保護者と地域に信頼される学校 「保護者・地域とともにある学校づくり」 の推進

教職員が働く喜びを感じる学校 「チーム野田」として支え合い、高め合う教職員集団

■「運営に関する計画」の年度目標(抜粋)

【安全・安心な教育の推進】

- ○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないと思う」に対して、最も肯定 的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。
- ○校内調査における「学級や学校は、安全で居心地の良い場になっている」に対して、肯定的に回答する児童・ 保護者の割合の平均を94%以上にする。
- ○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思う」に対して、肯定的に回答する児童 の割合を82%以上とする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ○小学校学力経年調査における、国語・算数の学力に課題の見られる児童の割合を、同一母集団において 経年的に比較し、いずれの学年も前年度よりも減少させる。
- ○小学校学力経年調査における、「学級の友達との話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げた りすることができている」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 50%以上にする。
- ○小学校学力経年調査における「運動(体を使う遊びを含む)やスポーツをすることが好き」に対して、 最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を72%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ○授業日において、児童の8割以上が学習用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。
- ○校内調査において「学校は、子どもたちが安全で安心して学ぶことができるような教育環境づくりに努め ていると思う の項目において、肯定的な回答の割合について 96%以上にする。